

漢字音に関する一考察

——明治初期英学資料を資料として——

呂 麗 敏

Japanese *Kanjion* : The Case of the Japanese and English Languages

LUE Limin

Abstract : Japanese *kanjion* constitute one sort of Chinese pronunciation system adopted in Japan for reading the Chinese classics and other works. Since the pronunciation of Chinese has changed in the course of history, Japanese *kanjion* give rise to several styles of reading from the same Chinese characters.

The purpose of this paper is to analyse the first edition of the *Manual of the Japanese and English Languages* from the fourth year of Meiji. This was a text for elementary English education in the Japanese Meiji Era. These different pronunciations for reading the same Chinese characters, as mentioned above, have been discovered from the text of the first edition by research into this period.

一 はじめに

日本における漢字の字音は、それを取り入れた時期における中国語音の日本語化されたものである。そのもとになる中国語音自体に時代によって変化の歴史があることから、日本漢字音形には、したがって何らかの違いがある。

日本漢字音の二大体系のものをそれぞれ漢音、呉音と命名され、漢音とは中国音すなわち標準音を指し、呉音とは呉地方音を意味するものである。奈良、平安朝交替のころから頻発された勅令ないし政令は、時の朝廷の言語政策の一つとして、旧来の呉音から新来の漢音へ乗換えるべしというようなものがあつたにもかかわらず、日本漢字音に関しては、特に僧家の世界において、それまで定着していた呉音の存在というものがあつたために、いかに勅令とはいっても、これまで存在定着してきたこのような音は、すぐ捨てるようなことは言語の本性上からも決してないのが当然である。

『新訂 中国語概論』（藤堂明保・相原 茂，1985年初版，1989年再版，大修館書店）には、「呉音と漢音」について P 227 で以下のように述べている。

- (1) 古い「和音」は、依然として呉音式読み方のまま、日本語に同和した単語となりました。
- (2) 仏典はだいたい従来の呉音読みを保存したが、部分的に漢音読みに侵蝕されました。しかし仏典を通じて輸入された漢語は、ほぼ呉音読みのまま日本語にとり入れられました。
- (3) 漢籍は次第に漢音読みに統一されました。したがって、おもに儒教の書や、漢籍を通じて平安朝以後に紹介された漢語は、おおむね漢音読みとなりました。

本論は明治初期英学資料の一つである『袖珍 英和節用集』初編（明治4年）を資料として、漢字音に関して、唐音、慣用音も含めて主に漢音、呉音についての分布実態を考察するものである。

二 『袖珍 英和節用集』初編における漢字音

『袖珍 英和節用集』初編（以下『袖珍 英和節用集』と称す）における単語の漢字とその振り仮名との関係より、①音読みの振り仮名が付いている単語（音読単語）、②訓読の振り仮名が付いている単語（訓

読単語), ③口語読みのようなものが付いている単語(解釈単語)と三分類できる。今回, 主として①音読みの振り仮名が付いている単語(音読単語)について, 調査を進める。

1. 『袖珍 英和節用集』における字音分布

まず, 単語の漢字音が、『袖珍 英和節用集』における分布実態を以下のように示す。分布の所在を示すのに, 算数字は丁数, オ・ウは表・裏である。『袖珍 英和節用集』の単語の振り仮名の部分の「片仮名」は「平仮名」に用いなおす, なお, 仮名遣いは原書のままで, 現代仮名表記で50音順に配列する。

「あ」

あんしんやく案針役 [66ウ], あんないじや案内者 [66ウ]

「い」

いしや医者 [2オ], いす椅子 [1オ], いちきやう一行 [3オ], いちにち一日 [2ウ], いちねん一年 [2ウ], いちびやうじ一秒時(一分時六十分ノ一) [3ウ], いちぶんじ一分時(一時六十分ノ一) [3ウ], いちまい一枚 [2ウ], いんらん淫乱 [3オ]

「う」

うんじやう運上 [46オ], うんじやうしよ運上所 [46ウ], うんそうせん運送船 [46ウ], うんどう運動 [45ウ]

「え」

えういん幼院 [83ウ], えき疫 [83オ], えずし繪図師 [83ウ], えぞう繪像 [83ウ]

「お」

おくびやう臆病 [23ウ]

「か」

かい階 [26オ], かいがん海岸 [28オ], かいぐん海軍 [28オ], かいけふ海峡 [28オ], かいしん改心 [30オ], かいぞく海賊 [28オ], かいづ海図 [26オ], かうかつ狡猾 [28ウ], かうぐ香具 [27オ], かうし格子 [26ウ], かうせい行星 [27ウ], かうそつ坑卒 [28オ], かうまん高慢 [28ウ], かくし家具師 [26ウ], かくし学士 [27ウ], かくじん楽人 [30オ], かくせい学生 [27ウ], かくもん学問 [29ウ], がぞう画像 [27オ], かちく家畜 [26ウ], かやうにち火曜日 [30オ], かんげん諫言 [28ウ], かんにん堪忍 [28ウ], かんらく乾酪 [28ウ]

「き」

きうそく休息 [71ウ], ぎうにく牛肉 [71ウ], ぎうらく牛酪 [71ウ], きうりがくしや究理学者 [72

ウ], きかい器械 [71オ], きかう季候 [70ウ], きかつ飢渴 [71オ], ききん飢饉 [71オ], きくわん気管 [71ウ], きくわん機関 [71ウ], きぜつ氣絶 [71オ], きぞく貴族 [70ウ], ぎやうじやう行状 [71ウ], きやうだい兄弟 [71ウ], きやうへき胸壁 [71ウ], きやうもん経文 [71ウ], きやくじん客人 [71ウ], きれい奇麗 [70ウ], ぎわく疑惑 [70ウ], きん金 [70ウ], ぎん銀 [70ウ], きんぜい禁制 [71ウ], きんぷん金粉 [71ウ], ぎんみ吟味 [71オ]

「く」

く勺 [48オ], かうき空氣 [48ウ], くぐわつ九月 [50オ], くじやく孔雀 [49ウ], かつう苦痛 [49オ], ぐどん愚鈍 [49オ], くべつ區別 [49オ], くわいかふ会合 [50ウ], くわいふく快復 [50ウ], くわがくしや化学者 [50ウ], くわもん火門 [50オ], くわやく火薬 [50オ], ぐんかん軍艦 [49ウ], ぐんぜい軍勢 [49ウ], ぐんびやう軍兵 [50ウ]

「け」

けい景 [54オ], けいしや軽車(遊行ナドニ用ユ) [55オ], けいしよく景色 [55ウ], けいづ系図 [54ウ], けいば競馬 [54ウ], けいばつ刑罰 [55オ], けいやう形容 [55オ], けうし教師 [54ウ], げくわいしや外科医者 [55ウ], げざい下剤 [54ウ], げじよ下女 [54ウ], げなん下男 [54ウ], けらい家来 [54ウ], けん劔 [54オ], けんそん謙遜 [55オ], けんちくがく建築学 [55ウ], けんちくがくしや建築学者 [55ウ], げんほん原本 [55オ], けんやく儉約 [55オ]

「こ」

こうくわい後悔 [61オ], こうけんにん後见人 [61ウ], ごがくしや語学者 [61オ], こきう鼓弓 [60オ], こきやう古郷 [61オ], こくしゆ國主 [60オ], ごぐわつ五月 [60オ], こんれい婚礼 [60オ]

「さ」

さいオ [67オ], さいがい災害 [68ウ], さいくにん細工人 [69オ], さいしやう宰相 [69オ], さいそく催促 [68オ], さいち才智 [67ウ], ざいにん罪人 [68ウ], さいのう才能 [68オ], さいばんしよ裁判所 [69ウ], さいばんやく裁判役 [69ウ], さう相 [67オ], さうけん壮健 [68オ], さうぞう相像 [68オ], さうふ臟腑 [67ウ], さくじつ昨日 [69オ], さたう砂糖 [67ウ], さんぐわつ三月 [69ウ], ざんしゆ斬首 [69オ], さんじゆつ算術 [69

ウ), さんぞく山賊 [68 ウ], さんぶん散文 [68
ウ], さんよう算用 [68 ウ]

「し」

し死 [77 オ], じあい慈愛 [78 オ], じういちぐわ
つ十一月 [82 ウ], しうぎいん集議院 [81 オ], し
うくわい集會 [81 ウ], じうぐわつ十月 [81 オ],
じうにくわつ十二月 [82 オ], じうぶん充分 [78
ウ], しうもつ什物 [80 オ], しきしやう色情 [80
ウ], しぐわつ四月 [79 オ], しし獅子 [77 ウ], し
しやう師匠 [78 ウ], しじん詩人 [78 ウ], しせつ
使節 [78 ウ], しそん子孫 [77 ウ], しちぐわつ七
月 [81 オ], しちもつ質物 [80 ウ], してやう鷺鳥
[80 オ], しいやく支配役 [81 オ], じまん自慢
[78 オ], じやいん邪淫 [80 ウ], じやう情 [78
オ], しやうぎ将棋 [80 ウ], じやうき蒸氣 [79
オ], じやうきしや蒸氣車 [82 オ], じやうきせん
蒸氣船 [81 ウ], しやうぎばん将棋盤 [82 オ], じ
やうじゆ成就 [81 ウ], しやうせん商船 [81 ウ],
しやうに小兒 [79 オ], しやうばい商賣 [81 オ],
じやうみやく静脈 [82 オ], じやうめ乗馬 [80
オ], しやうり勝利 [79 オ], しやくば借馬 [80
オ], しやちう社中 [78 ウ], しやほん写本 [80
ウ], しゆ朱 [77 ウ], じゆう自由 [78 オ], しゆつ
しやう出生 [82 オ], しゆなう収納 [80 オ], しよ
きくわん書記官 [82 オ], しよくげふ職業 [81
オ], しよくじ食事 [79 ウ], しよくたい燭臺 [81
ウ], しよくだう食道 [81 オ], しよくにん職人 [81
オ], しよくぶつがく植物学 [82 ウ], しよくぶつ
がくじや植物学者 [82 ウ], しよくもつ食物 [81
オ], しらく刺絡 [78 オ], しりんしや四輪車 [81
ウ], しんがくしや神学者 [82 オ], しんけい神経
[79 ウ], じんけい仁恵 [80 オ], しんけいねつ神経
熱 [82 オ], しんぞく親屬 [79 オ], しんつう心痛
[79 ウ], しんぶんし新聞紙 [81 オ], しんゆう親友
[79 オ], しんよう信用 [79 ウ], しんらう辛勞 [79
オ]

「す」

す酢 [90 オ], すいさつ推察 [91 ウ], すいじやく
衰弱 [91 ウ], すいだう水道 [91 ウ], ずいだう随
道 [91 ウ], すいび哀微 [91 オ], すいふ水夫 [91
オ], すいやうにち水曜日 [91 ウ], すう數 [90
ウ], すうがくしや數学者 [92 オ]

「せ」

せいし誓詞 [88 ウ], せいちよく正直 [89 ウ], せ
いふ政府 [88 ウ], せうこ證拠 [88 ウ], せうねん

少年 [89 オ], せうもん證文 [89 オ], せうやう逍
遙 [89 ウ], せかい世界 [88 ウ], せきたん石炭 [89
オ], せきばん石盤 [88 ウ], せきひつ石筆 [89
オ], せつ説 [88 オ], ぜつねん絶念 [89 オ], せん
けん先見 [89 オ], せんけん全權 [89 ウ], せんし
やう船将 [89 ウ], せんじやう戰場 [89 ウ], せん
せい先生 [89 オ], せんぞ先祖 [88 ウ], せんたい
船隊 [89 オ], せんたう煎湯 [89 ウ], ぜんびやう
前表 [89 ウ]

「そ」

ぞう象 [36 オ], ぞうちやう増長 [36 ウ], そうれ
い葬礼 [36 ウ], そつちゆう卒中 [36 ウ]

「た」

だいがくかう大學校 [34 ウ], たいがくし大孝士
[34 オ], だいく大工 [33 ウ], たいこやく大鼓役
[34 ウ], だいだう大道 [34 オ], だいらせき大理石
[34 ウ], たう塔 [32 オ], だうり道理 [33 ウ]

「ち」

ち地 [18 オ], ち智 [18 オ], ちうかい註解 [19
オ], ちうしん中心 [19 オ], ちかく知覚 [19 オ],
ちぎやうしよ知行所 [19 ウ], ちくじやうか築城家
[19 ウ], ちけふ地峡 [18 ウ], ぢごく地獄 [18
ウ], ぢしん地震 [18 ウ], ちちうかい地中海 [19
ウ], ちへい地平 [18 ウ], ちや茶 [18 ウ], ちやう
じ丁子 [63 ウ], ちやうやく帳役 [19 ウ], ちよく
せん直線 [19 ウ]

「つ」

ついはう追放 [38 ウ]

「て」

てい帝 [62 オ], ていこく帝國 [63 ウ], ていしゆ
亭主 [63 ウ], ていせつ貞節 [63 オ], ていねい叮
嚀 [63 オ], てう蝶 [62 オ], てき敵 [62 オ], て
きたい敵対 [63 オ], てし弟子 [62 オ], てつぼう
銃砲 [63 オ], てやうじ丁子 [63 ウ], てやうふく
朝服 [63 ウ], てやうろう嘲哂 [63 ウ], てん天 [62
オ], てんかん癲癇 [63 ウ], てんき天氣 [62 ウ],
でんせん傳染 (病ノ) [63 オ], てんてい天帝 [63
オ], てんびん天秤 [63 ウ], てんびん天稟 [63 オ]

「と」

ど度 [15 オ], とうき陶器 [16 オ], とうみやうだ
い燈明臺 [17 ウ], とうみやく動脈 [17 ウ], とう
りやう棟梁 (大工ノ) [17 オ], とく徳 [15 ウ], と
せん渡船 [15 ウ], とたう徒党 [16 オ], とち土地
[15 オ], どのようにち土曜日 [17 オ]

「な」

ないみつ内密 [41 オ], なふ脳 [40 オ], なふがい
脳蓋 [41 ウ], なんじう難渋 [41 オ]

「に」

にうじう乳汁 [11 ウ], にかい二階 [10 オ], にく
かう肉羹 [11 オ], にくけい肉桂 [11 オ], につき
日記 [10 ウ], につくわう日光 [11 ウ], につしよ
く日蝕 [11 ウ], にりんしや二輪車 [11 ウ], にん
げん人間 [11 オ]

「ね」

ねんぐ年貢 [39 ウ], ねんだいき年代記 [39 ウ]

「は」

はいくん敗軍 [7 ウ], はいさう敗走 [7 ウ], はい
れい拜礼 [8 オ], ぼうし帽子 [6 ウ], はうしや砲
車 [7 オ], はうちやう庖丁 [9 オ], はうもん砲門
[7 ウ], はくきん白金 [8 オ], ばぐし馬具師 [7
オ], はせん破船 [6 ウ], はちぐわつ八月 [9 オ],
はつめい発明 [8 ウ], はつめいしや発明者 [9
ウ], はんまい半枚 [8 ウ]

「ひ」

ひ妃 [84 オ], ひきやう卑怯 [85 ウ], ひきやく飛
脚 [85 ウ], したん悲歎 [85 オ], びやういん病院
[85 ウ], ひやうばん評判 [86 ウ], ひやくねん百年
[86 ウ], ひんいん貧院 [85 ウ]

「ふ」

ぶ部 [56 オ], ふかう不幸 [57 オ], ぶき武器 [56
ウ], ふくわう副王 [57 オ], ふけんかう不健康 [57
ウ], ふしんよう不信用 [57 ウ], ふとく不徳 [56
ウ], ぶんしやう文章 [57 オ]

「へ」

へいそつ兵卒 [14 ウ], へいめん平面 [14 ウ], べ
つそう別荘 [14 ウ], へんきやう返響 [14 ウ], へ
んくわ変化 [14 ウ], へんしう編集 [14 ウ], べん
り便利 [14 ウ]

「ほ」

ほかう歩行 [12 ウ], ほくかい北海 [13 オ], ほく
じん牧人 [13 ウ], ほくてき牧笛 [13 ウ], ほせき
墓石 [13 オ], ほへい歩兵 [12 ウ], ほんごく本國
[13 ウ]

「ま」

ま魔 [52 オ], まんげつ満月 [53 オ], まんそく満
足 [53 オ], まんぶく満腹 [53 オ]

「み」

みやうにち明日 [76 ウ]

「む」

むがく无学 [43 ウ], むざい无罪 [43 ウ], むち无
智 [43 オ], むほん謀叛 [43 ウ], むほんにん謀叛
人 [44 ウ]

「め」

めいてい酩酊 [74 ウ], めいよ名誉 [74 ウ], めい
れい命令 [74 ウ], めんるい麵類 [74 ウ]

「も」

もくだい目代 [87 ウ], もくたん木炭 [87 ウ], も
ん門 [87 オ], もん紋 [87 オ]

「や」

やし椰子 [51 オ], やじう野獸 [51 ウ]

「ゆ」

ゆうあい友愛 [73 ウ], ゆうき勇氣 [73 ウ], ゆう
れい幽霊 [73 ウ], ゆえん油烟 [73 ウ], ゆくわい
愉快 [73 ウ]

「よ」

ようち幼稚 [31 オ], よくたう浴湯 [31 ウ]

「ら」

らう蠟 [42 オ], らうしやう癆症 [42 ウ], らうそ
く蠟燭 [42 オ], らうそくだい蠟燭臺 [42 ウ], ら
ひびやう癩病 [42 ウ]

「れ」

れい例 [35 オ], れいか礼家 [35 オ], れいぎ礼儀
[35 オ], れいしき礼式 [35 ウ], れいはいだう礼拝
堂 [35 ウ], れいらく零落 [35 ウ], れうけん獵犬
[35 ウ], れうし獵師 [35 オ], れきし歴史 [35
オ], れきしか歴史家 [35 ウ], れきじゆつ曆術 [35
ウ], れきれき歴々 [35 ウ], れつ列 [35 オ]

「ろ」

ろ艦 [4 オ], ろう樓 [4 オ], ろうもん樓門 [4
ウ], ろくぐわつ六月 [4 ウ], ろんりじゆつ論理術
[4 ウ]

「わ」

わう王 [24 オ], わうこく王國 [24 ウ], わん碗 [24
オ],

2. 漢字音実態

次に、「一音節語」、「二音節語」、「三音節語」、「四
音節語」と項目を分けて、それぞれ『袖珍 英和節用
集』における漢字音実態を示す。示すのにあたって漢
音○、呉音●、唐音△、慣用音▲についてそれぞれ記
号を用いる、ただし、漢音、呉音が共通なときは◎記
号で示した。なお、音便、連濁、連声の現象の起こし
ている単語について今回は除外することにした。

A. 一音節語

○

疫, 階, 金, 銀, 景, 才, 朱, 說, 地, 帝, 敵, 例, 列, 樓

◎

勺, 劍, 死, 酢, 塔, 智, 蝶, 天, 德, 妃, 蠟

●

相, 情, 象, 度, 腦, 部, 魔, 門, 紋, 鱸, 王, 碗

▲

數, 茶

B. 二音節語

◎◎

医者, 淫乱, 海岸, 改心, 乾酪, 器械, 火薬, 謙遜, 獅子, 子孫, 鷺鳥, 勝利, 写本, 刺絡, 水夫, 逍遙, 先見, 煎湯, 中心, 知覺, 追放, 悲歎, 北海, 椰子, 浴湯, 獵犬, 獵師, 王國

◎△

椅子

◎●

運上, 運動, 海賊, 海囚, 高慢, 学問, 貴族, 疑惑, 愚鈍, 火門, 災害, 小兒, 親屬, 心痛, 水道, 少年, 戰場, 帳役, 癆症, 蠟燭, 癩病

●●

一行, 一日, 一年, 一枚, 繪像, 香具, 行狀, 兄弟, 經文, 空氣, 苦痛, 下劑, 下男, 罪人, 相像, 色情, 自慢, 成就, 靜脈, 乘馬, 収納, 隧道, 證拠, 證文, 大工, 大道, 地獄, 百年, 滿足, 明日, 无学, 无罪, 目代

●▲

幼院, 氣絶, 九月, 十月, 七月, 質物, 内密, 腦蓋, 難洪, 乳汁, 八月, 病院, 謀叛, 六月

▲●

臆病, 画像, 斬首, 充分, 絶念

◎▲

海軍, 海峡, 五月, 三月, 算術, 四月, 天秤, 野獸

○○

狡猾, 行星, 坑卒, 諫言, 機関, 胸壁, 奇麗, 会合, 快復, 景色, 競馬, 形容, 後悔, 鼓弓, 壯健, 昨日, 砂糖, 集會, 職業, 燭臺, 神經, 仁惠, 誓詞, 正直, 石筆, 全權, 船將, 船隊, 地平, 亭主, 貞節, 敵対, 朝服, 棟梁 (大工ノ), 土地, 敗走, 拝礼, 白金, 兵卒, 步行, 牧人, 牧笛, 墓石, 歩兵, 友愛, 幽霊, 礼家, 歷々

▲◎

格子, 弟子, 副王, 不徳

●○

学士, 客人, 下女, 家来, 慈愛, 借馬, 自由, 世界, 嘲哂, 二階, 肉羹, 肉桂, 勇氣, 幼稚

◎○

楽人, 学生, 季候, 飢渴, 飢饉, 古郷, 國主, 婚礼, 宰相, 散文, 算用, 師匠, 詩人, 使節, 商船, 商賣, 親友, 信用, 辛勞, 推察, 衰弱, 哀微, 先生, 葬礼, 癩癩, 天氣, 天帝, 渡船, 破船, 半枚, 卑怯, 飛脚, 变化, 愉快

○○◎

家畜, 休息, 牛酪, 氣管, 輕車 (遊行ナドニ用ユ), 儉約, 才智, 社中, 政府, 石炭, 直線, 帝國, 陶器, 徒党, 敗軍, 帽子, 砲車, 武器, 文章, 編集, 名誉, 礼儀, 零落, 歴史

○●

堪忍, 牛肉, 吟味, 系囚, 催促, 才能, 山賊, 将棊, 出生, 食事, 食道, 職人, 石盤, 動脈, 庖丁, 砲門, 平面, 満月, 礼式, 樓門

○▲

區別, 什物, 食物, 地峡, 叮嚀, 傳染 (病ノ), 發明, 貧院, 曆術

▲○

軍艦, 蒸氣, 增長, 註解, 不幸, 別荘, 返響, 酪酊, 命令

●◎

教師, 臟腑, 邪淫, 道理, 地震, 便利, 无智, 麵類, 木炭, 油煙

▲▲

評判

C. 三音節語

◎◎●

案針役

●○●

一秒時 (一分時六十分ノ一), 大鼓役

●●●

一分時 (一時六十分ノ一), 細工人

◎◎●

運上所, 火曜日, 水曜日

◎○○

運送船

●●◎

繪図師, 化学者, 語学者, 年代記

○●◎

家具師
 ○○●
 建築学, 礼拝堂
 ○◎●
 後見人
 ◎○○
 新聞紙
 ▲●◎
 数学者
 ○●○
 大學校, 築城家
 ●●○
 大孝士
 ○○○
 大理石, 歴史家
 ◎●●
 知行所, 燈明臺, 蠟燭臺
 ○○○
 地中海
 ▲◎●
 土曜日
 ●○○
 二輪車
 ○●◎
 馬具師, 神学者
 ○▲◎
 発明者
 ▲○○
 不健康, 蒸氣車
 ▲◎○
 不信用
 ●▲●
 謀叛人
 ○▲●
 裁判所, 裁判役
 ●●▲
 十一月
 ○◎▲
 集議院
 ○●▲
 十二月
 ◎○●
 支配役, 植物学
 ▲○○
 蒸氣船

○●●
 将基盤
 ◎◎◎
 書記官, 四輪車
 ○○▲
 神経熱
 ◎◎▲
 論理術

D. 四音節語

○○●◎
 究理学者
 ●○○◎
 外科医者
 ○○●◎
 建築学者

三 おわりに

以上のように『袖珍 英和節用集』に関して漢字音の実態分布について、調査してきた、その過程中漢音、呉音それぞれ同一漢字に現れるところがあったため、本論のおわりにあたって次に、漢音、呉音の主な違いは箇条別に示す、なお、括弧 () 内の平仮名は漢音、片仮名は呉音を示す。

1. 声母について

一日いちにち [2 ウ], 火曜日かやうにち [30 オ], 昨日さくじつ [69 オ], 水曜日すいやうにち [91 ウ], 土曜日どようにち [17 オ], 明日みやうにち [76 ウ]
 日 (じつ ニチ)

楽人がくじん [30 オ], 客人きやくじん [71 ウ], 後見人こうけんじん [61 ウ], 細工人さいくじん [69 オ], 罪人ざいにん [68 ウ], 詩人しじん [78 ウ], しよくにん職人 [81 オ], 人間 [にんげん 11 オ], 牧人ぼくじん [13 ウ], 謀叛人むほんじん [44 ウ]
 人 (じん ニン)

漢語の声母 (r) の字は、漢音に「じ」、呉音に「ニ」と訳す。漢語の r は上古から六朝まで、すべて ni- という形を備えていった、それが唐代に入ると擦音化と言い、つまり ni- のところが n に変わったのである、この n の発音は実はそり舌音の要素を含むのであるが、日本人には「じ」のように聞こえたので「日じつ・人じん」という漢音式の発音が生じたのである。

競馬けいば [54 ウ], 乗馬じやうめ [80 オ], 借馬しやくば [80 オ], 馬具師ばぐし [7 オ]

馬 (ば メ)

経文きやうもん [71 ウ], 散文さんぶん [68 ウ], 證文せうもん [89 オ], 文章ぶんしやう [57 オ]

文 (ぶん モン)

唐代の長安語で、六朝時代の m が mb と変わったため、漢語の声母 (m) の字は漢音「ば」行、呉音「マ」行に訳す。

行星かうせい [27 ウ], ぎやうじやう行状 [71 ウ], 知行所ちぎやうしよ [19 ウ], 歩行ほかう [12 ウ]

行 (かう ギャウ)

燭臺しよくたい [81 ウ], 燈明臺とうみやうだい [17 ウ], 蠟燭臺らうそくだい [42 ウ]

臺 (たい ダイ)

大學校だいがくかう [34 ウ], 大孝士たいがくし [34 オ], 大工だいく [33 ウ], 大鼓役たいこやく [34 ウ], 大道だいだう [34 オ], 大理石だいらいせき [34 ウ]

大 (たい ダイ)

地ち [18 オ], 地峡ちけふ [18 ウ], 地獄ぢごく [18 ウ], 地震ぢしん [18 ウ], 地中海ちちうかい [19 ウ], 地平ちへい [18 ウ], 土地とち [15 オ]

地 (ち ゼ)

唐代の長安語で、清濁音の区別が混同し始めたため、漢語の濁音は漢音では清音、呉音では濁音である。

2. 韻母について

がくせい学生 [27 ウ], しゆつしやう出生 [82 オ],

せんせい先生 [89 オ]

生 (せい シャウ)

漢語の韻母 (ㄩㄥ) の字は、漢語では「えい」型に訳し、呉音では「ヤウ」型に訳す。

競馬けいば [54 ウ], 乗馬じやうめ [80 オ], 借馬しやくば [80 オ], 馬具師ばぐし [7 オ]

馬 (ば メ)

漢語の母音 (ä) の類を普通の a より狭いため、漢音では「あ」段に訳しているが、呉音ではむしろ日本語のエ段に近いと認めて「エ」段に訳した。

宰相さいしやう [69 オ], 相さう [67 オ], 相像さうぞう [68 オ]

相 (しゃう サウ)

(aŋ) 韻の字は漢音「いやう」とするが、呉音は「アウ」となる。

燭臺しよくたい [81 ウ], 蠟燭らうそく [42 オ], 蠟燭臺らうそくだい [42 ウ]

燭 (しよく ソク)

(uk) 韻の字は漢音「いおく」とするが、呉音は「オク」となる。

参考文献

- 大川環樹ら 1994, 1968『角川 新字源』改訂版 角川書店, 角川書店
 高松政雄 1986『日本漢字音概論』風間書房
 高松政雄 1982『日本漢字音の研究』風間書房
 築島 裕 1977『国語の歴史』東大出版会
 藤堂明保 1957『中国語音韻論』江南書院
 諸橋轍次 1955~1960『大漢和辞典』大修館書店
 有坂秀世 1944, 1928『国語音韻史の研究』増補版 明世堂, 三省堂
 山田孝雄 1940『国語の中に於ける漢語の研究』宝文館
 大島正健 1931『漢音呉音の研究』第一書房